

都市塾

高度成長期に都市計画を実践した先輩たちの話を聞く会

2019. 2. 28 (木)
15:00 - 17:00

急激な都市化が進む途上国では、我が国が高度成長期に経験した多くの都市問題と同様な課題に直面しています。グローバル・IT 情報化時代において、西欧では都市化は 100～150 年をかけて進行了ましたが日本では約 50～60 年という短期間で生じた経験を有しています。今後、途上国の都市化はこれを上回る短期間に同時多発的に生じる事となり、多くの都市問題に対応が必要となっています。我が国の都市計画家は都市化の始まりから人口の減少時代まで、一代で都市の変化を経験した方々がご存命であります。これは、世界的にも稀なことで、当時、都市計画を担当された方々がお元気なうちに、都市計画に携わる若者達に向けて経験を語ってもらい、諸先輩方の経験を次の世代に継承して欲しいと考え企画したものです。ぜひご参加下さい。



第 2 回 途上国の都市計画を考える 際の日本の経験

- 総合的都市計画の取り組みにおける日本の都市計画のはじまり
秋田市の広域都市計画(1957)
- 広域圏計画と都市圏成長核としての拠点開発事例
西遠広域圏計画と浜松都心計画(1977～)
アクトシティ浜松の役割

講師 渡部 與四郎氏

講師略歴

同済大学名誉顧問、建設省技術参事官、筑波大学教授、法政大学教授、都市計画学会会長。区画整理士協会会長

会場 アルメック VPI

9 階会議室

会費 2000 円

プログラム（案）

※プログラムの内容や講師については、今後変更の可能性もございます。

講座概要		講 師
第1回 2018/12/13	20世紀における日本の都市計画を回顧する 我が国の都市計画制度の始まり、戦前、戦後、高度成長期の改正目的は何だったか	広瀬 盛行 氏 明星大学名誉教授、日本都市計画学会名誉会員、マイスター都市計画プランナー、都市計画審議会委員（東京都他）
第2回 2019/2/28	総合的都市計画の取り組みにおける日本の都市計画のはじまり 秋田市の広域都市計画(1957) 広域圏計画と都市圏成長の拠点開発事例 西遠広域圏計画と浜松都心計画(1977～)	渡部 與四郎 氏 同済大学名誉顧問、前筑波大学教授、前法政大学教授、前建設省技術参事官、マイスター都市計画プランナー
第3回 2019/4/12	イタリアの〈建築類型学〉 都市におけるデザイン・コンセプトとは、美しい町の持つ価値とは	田島 學 氏 筑波大学名誉教授 愛知産業大学名誉教授 NPO 汎房総地域づくり研究会副理事長 NPO 群馬・神流まちづくり衆髪ふうせん会友
第4回 2019/6	世田谷のまちづくり 行政からみた市民参加の問題と課題	板垣 正幸氏 世田谷区副区長、都市整備部長
第5回 2019/8	都市計画の立て方 都市計画プランナーは何をすべきか	渡部 與四郎氏 同済大学名誉顧問、前筑波大学教授、前法政大学教授、前建設省技術参事官、マイスター都市計画プランナー
第6回 2019/10	満州国の都市計画（予定） 戦前および満州国の都市開発事業について	
第7回	都市交通と都市形成（予定）	
第8回	都市開発事業制度の経緯と基本的考え方（予定） 耕地整理、区画整理、新都市基盤 防災街区、都市再開発、NT、宅開、	
第9回	大規模開発事業における受益者負担（予定）	
第10回	途上国の都市計画にとって留意すべきこと	